

# 樟の庭

第 235 号

令和2年(2020年) 1月 24日

大阪市立新北野中学校

KUSUNONIWA KUSUNONIWA KUSUNONIWA KUSUNONIWA KUSUNONIWA

## あれから25年…阪神・淡路大震災

『平成の時代で最も印象に残ったことは何ですか?』と問われたときに、多くの人が**阪神淡路大震災**を挙げると思います。当時、「関西地方では大きな地震は来ない」と言われていました。しかし、1995年(平成7年)1月17日午前5時46分。その時はやってきました。

死者6434名、重傷者4万3992名。全壊・全焼家屋10万4906棟の甚大な被害がありました。建物が倒壊し、人々はその下敷きになり、あちこちで火災がおこりました。水道管が破裂して消防用の水が出なくなったり、道路の寸断によって緊急車両も走れない状況でした。地震発生直後に停電になり、それまで使っていたライフラインが一瞬で使えなくなりました。



地震でゆがんだ線路



そんな中、日本国内だけでなく、世界中から被災地にボランティアの人々が集まってきたしました。

震災直後は、消防や救助などの「**公助**」は1割程度でした。あとは、民間や近所の人々が、互いに支えあい助け合いました（「**共助**」）。

震災後、その教訓から非常食や水を避難用に常備するようになりました。



あの時、どれだけの人が自身を守る行動をとることができたでしょうか。

あの時を思い出しながら、**阪神淡路大震災**を経験された方の話を積極的に聞いてみてください。

どのように自分の命を守るのか、家族で話し合ってみてください。

「**災いと訓練には終わりはない**」のですから…。

(校長 太田 忠男)



避難訓練の様子